

勤務形態一覧表の作成方法・常勤換算の算出方法

勤務実績の管理にあたっての勤務形態一覧表は、4週分ではなく、暦月(1日～末日)分で作成します。

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(元 年 6 月分)

サービス種類

(介護医療院・(介護予防)短期入所療養介護)

事業所番号 (1234567890)

事業所名

(医療法人社団 ○○会 ●●病院介護医療院)

職 種	勤務形態	資格	氏 名	日	勤務時間																												合計	合計	常勤換算後の人数		
					13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	ア	イ	ウ	エ	オ										
管理者兼医師	B	医師	○○ ○○	7	次のいずれかに該当する場合、勤務形態は、「B(常勤兼務)」または「D(非常勤兼務)」になります。 ①介護医療院と(介護予防)短期入所療養介護の両方の業務に従事する場合																																
医師	A	医師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5									
薬剤師	C	薬剤師	○○ ○○		7.5	勤務時間は、休憩時間を除いた実労働時間で記載します。残業等の時間外の勤務は除いてください。																															
理学療法士	A	理学療法士	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5									
介護支援専門員	A	介護支援専門員	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5								
介護支援専門員	A	介護支援専門員	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5								
栄養士	A		○○ ○○		7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5									
診療放射線技師	C		○○ ○○		7.5						7.5																										
勤務割り区分				アイウエオ	塗りつぶし(灰色)部分は、ユニット型の看護職員及び介護職員以外は、記入不要。																												勤務割り区分の時間帯 ア : ~ : () イ : ~ : () ウ : ~ : () エ : ~ : () オ : ~ : () () 内は休憩を除いた時間数				

勤務形態 A 常勤専従 B常勤兼務 C非常勤専従 D非常勤兼務

計算はすべて小数点第2位を切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数、勤務時間

5 日 (a) 週 37.5 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

7.5 時間 (c)

6月の常勤職員が通常勤務すべき日数

22 日 (d)

常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合 当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数

常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算方法 $(a) \times 4 + (\text{月の日数} - 28) \times (a) \div 7$

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

(c) × (d) 165 時間 (e)

施設の就業規則等で祝祭日が休日に定められている場合にはこの通りではありません。

常勤換算 常勤専従職員の人数 + (非常勤職員等の勤務時間数合計 ÷ 常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e))

- *記載上の注意
- (1) 管理者及び従業者全員の、1か月間の勤務すべき時間数を記入してください。
 - (2) 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「合計勤務時間」「週平均の勤務時間」「常勤換算後の人数」については、職種ごとに小計の行を挿入してください。
 - (3) 常勤換算が必要な職種は、合計時間を常勤の従業者が1ヵ月間において勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
常勤換算後の人数: 常勤の専従職員は1人でカウントしてください。非常勤職員は、職種ごとに勤務時間を合計した上で、月あたりの勤務時間(e)で割り常勤換算を行ってください。
また、常勤の兼務職員で按分が必要な場合は、按分前の勤務時間数を1人とカウントする考え方で常勤換算してください。
 - (4) 看護・介護職員については、療養棟(許可単位)が複数ある場合は、療養棟ごとにわけて記入してください。
 - (5) ユニット型の場合は、看護・介護職員については、ユニットごとにわけて記入してください。
 - (6) 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(元 年 6 月分)

サービス種類

(介護医療院・(介護予防)短期入所療養介護)

事業所番号

1234567890)

事業所名

医療法人社団 ○○会 ●●病院介護医療院)

職 種	勤務 形態	資格	氏 名																															合計					常勤換算 後の人数										
				日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	ア	イ	ウ	エ		オ	合計								
				曜日	水	木	人員基準・加算の算定要件で有資格者の配置が必要 な職種については、必ず資格名を記入してください。																				月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木					
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5																																			アイウエオ	165	1.0						
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5			7.5	7.5	7.5	7.5	7.5																														アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5																																				アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																			アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																			アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																			アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	准看護師	○○ ○○		7.5	7.5																																					アイウエオ	165	1.0				
看護職員	A	准看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5																																					アイウエオ	165	1.0			
看護職員	A	准看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																				アイウエオ	165	1.0			
看護職員	A	准看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																				アイウエオ	165	1.0			
看護職員	A	准看護師	○○ ○○		7.5	7.5	7.5	7.5																																				アイウエオ	165	1.0			
看護職員	C	正看護師	○○ ○○			7.5																																						アイウエオ	112.5				
看護職員	C	正看護師	○○ ○○			7.5																																						アイウエオ	75				
看護職員	C	准看護師	○○ ○○			7.5																																						アイウエオ	90	2.5			
看護職員	C	准看護師	○○ ○○			7.5																																						アイウエオ	67.5				
看護職員	C	准看護師	○○ ○○		7.5																																							アイウエオ	67.5				
勤務割り区分				アイ																																						アイウエオ							

常勤職員の休暇等の期間は、暦月で1月を超えるものでない限り、常勤換算の計算上は勤務したもののみならずことができます。その場合、勤務時間欄には「休」と記入し、勤務時間の合計に含めてください。
※非常勤職員の休暇は常勤換算の計算に含めることはできません。

勤務割り区分の時間帯
 : ~ : ()
 : ~ : ()
 : ~ : ()
 : ~ : ()
 : ~ : ()
 () 内は休憩を除いた時間数

勤務形態 A 常勤専従 B常勤兼務 C非常勤専従 D非常勤兼務

計算はすべて小数点第2位を切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数、勤務時間

5 日 (a) 週 **37.5** 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

7.5 時間 (c)

6月の常勤職員が通常勤務すべき日数

22 日 (d)

常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合 当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数

常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算方法 $(a) \times 4 + (\text{月の日数} - 28) \times (a) \div 7$

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

$(c) \times (d)$ 165 時間 (e)

常勤換算 常勤専従職員の人数 + (非常勤職員等の勤務時間数合計 ÷ 常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e))

- *記載上の注意
- (1) 管理者及び従業者全員の、1か月間の勤務すべき時間数を記入してください。
 - (2) 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「合計勤務時間」「週平均の勤務時間」「常勤換算後の人数」については、職種ごとに小計の行を挿入してください。
 - (3) 常勤換算が必要な職種は、合計時間を常勤の従業者が1ヵ月間において勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
常勤換算後の人数: 常勤の専従職員は1人でカウントしてください。非常勤職員は、職種ごとに勤務時間を合計した上で、月あたりの勤務時間(e)で割り常勤換算を行ってください。
また、常勤の兼務職員で按分が必要な場合は、按分前の勤務時間数を1人とカウントする考え方で常勤換算してください。
 - (4) 看護・介護職員については、療養棟(許可単位)が複数ある場合は、療養棟ごとにわけて記入してください。
 - (5) ユニット型の場合は、看護・介護職員については、ユニットごとにわけて記入してください。
 - (6) 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(元 年 6 月分)

サービス種類

(介護医療院・(介護予防)短期入所療養介護)

<一般棟>

事業所番号(1234567890)

事業所名(

医療法人社団 ○○会 ●●病院介護医療院)

サービス提供体制強化加算(I)を算定する場合、介護福祉士資格を有する介護職員は資格名を記入してください。

職 種	勤務形態	資格	氏 名	日 曜日	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	合計					常勤換算後の人数												
					月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	ア	イ	ウ	エ	オ		合計											
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5	7.5	7.5			7.5	7.5	7.5	7.5	7.5			7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5						165	1.0					
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5	7.5			7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5						165	1.0					
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5	7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5	7.5			7.5	7.5	7.5	7.5	7.5		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5						165	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇			7.5	7.5	7.5							7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇		7.5		7.5	7.5				7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇		7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						165	1.0				
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0			
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						165	1.0				
介護職員	A	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5	7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						165	1.0			
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇			7.5	7.5	7.5							7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇		7.5		7.5	7.5				7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇		7.5	7.5		7.5	7.5			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						165	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	〇〇 〇〇			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						157.5	1.0			
介護職員	C	介護福祉士	〇〇 〇〇				7.5	7.5							7.5	7.5						7.5	7.5												90					
介護職員	C	ヘルパー2級	〇〇 〇〇		7.5		7.5		7.5	7.5			7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						142.5	2.2			
介護職員	C	介護福祉士	〇〇 〇〇		7.5		7.5	7.5				7.5	7.5		7.5	7.5						7.5	7.5					7.5	7.5						135					
勤務割り区分				アイウエオ																										勤務割り区分の時間帯										
																														ア					:	~	:	()		
																														イ					:	~	:	()		
																														ウ					:	~	:	()		
																														エ					:	~	:	()		
																														オ					:	~	:	()		
																																			() 内は休憩を除いた時間数					

勤務形態 A 常勤専従 B常勤兼務 C非常勤専従 D非常勤兼務

計算はすべて小数点第2位を切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数、勤務時間

5 日 (a) 週 37.5 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

7.5 時間 (c)

6月の常勤職員が通常勤務すべき日数

22 日 (d)

常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合 当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数

常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算方法 $(a) \times 4 + (\text{月の日数} - 28) \times (a) \div 7$

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

(c) × (d) 165 時間 (e)

常勤換算 常勤専従職員の人数 + (非常勤職員等の勤務時間数合計 ÷ 常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e))

- *記載上の注意
- (1) 管理者及び従業者全員の、1か月間の勤務すべき時間数を記入してください。
 - (2) 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「合計勤務時間」「週平均の勤務時間」「常勤換算後の人数」については、職種ごとに小計の行を挿入してください。
 - (3) 常勤換算が必要な職種は、合計時間を常勤の従業者が1ヵ月間において勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
常勤換算後の人数: 常勤の専従職員は1人でカウントしてください。非常勤職員は、職種ごとに勤務時間を合計した上で、月あたりの勤務時間(e) で割り常勤換算を行ってください。
また、常勤の兼務職員で按分が必要な場合は、按分前の勤務時間数を1人とカウントする考え方で常勤換算してください。
 - (4) 看護・介護職員については、療養棟(許可単位)が複数ある場合は、療養棟ごとにわけて記入してください。
 - (5) ユニット型の場合は、看護・介護職員については、ユニットごとにわけて記入してください。
 - (6) 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表

(元 年 6 月分)

サービス種類

(介護医療院・(介護予防)短期入所療養介護)

<ユニット型>

事業所番号(1234567890)

事業所名(医療法人社団 ○○会 ●●病院介護医療院)

職 種	勤務 形態	資格	氏 名	日																													合計					常勤換算 後の人数						
				日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	ア	イ	ウ		エ	オ	合計			
				曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	ア	イ	ウ	エ	オ					
〈単位①〉																																												
看護職員	A	正看護師	○○ ○○		エ	オ		ウ	ウ		ア	イ			エ	オ		イ	イ		ウ	ア		ア	エ	オ		イ	ウ	イ	ア	ウ	エ		4	5	5	4	3	157.5	1.0			
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		ア	イ	エ	オ		イ	イ		ア	イ	イ		ウ		ウ	ウ	ア		ア	ウ	ア		エ	オ		ウ	イ		イ	ア		6	7	5	2	2	165	1.0		
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○		オ			ア	エ	オ		ウ	イ	ウ	ウ		ア	エ	オ		イ	イ		ア	ア	ウ	エ	オ		ア	エ	オ		5	3	5	4	5	165	1.0				
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○		イ	ウ	イ		ア	ウ	エ	オ		ア		ア	イ	ウ		ア	エ	オ		イ	ウ	ウ		ア	ア		エ	オ	イ		6	5	5	3	3	165	1.0			
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○			ア	ウ	エ	オ		ウ	ア	エ	オ		エ	オ		ア	イ		ウ	エ	オ		イ	イ		ア	ウ	イ	ウ		4	4	5	4	4	157.5	1.0				
介護職員	C		○○ ○○		ウ		ア	イ	イ	ア		ウ		ア	イ	ア	エ	オ		イ		ウ	イ		ウ		イ	エ	オ		ア		5	6	4	2	2	142.5	0.8					
〈単位②〉																																												
介護職員	A	介護福祉士	○○ ○○		ア	エ	オ		ア	ウ	イ		イ	エ	オ		ウ		ウ	ウ	エ	オ		ウ	ウ		ウ	ウ		ア	ア	イ	ウ		4	3	9	3	3	165	1.0			
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○		ウ		ウ	ア		ウ	ウ	ウ		ア	ア	ウ	イ	ア		ア	ア	エ	オ		ウ	ア	イ	ア		エ	オ		8	2	7	2	2	157.5	1.0					
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○			ウ		イ	ウ	エ	オ		ア	ウ	イ		エ	オ		ア	ア	ウ		ウ	ア	エ	オ		ア	ウ	ウ		ウ	ア		6	2	8	3	3	165	1.0		
介護職員	A	ヘルパー2級	○○ ○○			ア	ア	ウ		ア	エ	オ		ウ	ウ		ア	ウ	エ	オ		ウ	ア		ア	ア	エ	オ		ウ	ア	ウ		8		7	3	3	157.5	1.0				
介護職員	C	ヘルパー2級	○○ ○○		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ		イ					12					90	1.2				
介護職員	C		○○ ○○		イ			イ	ア		ア		ア		イ	ア		イ		イ	イ	イ		イ		イ		イ		イ	イ	イ		4	11				112.5	10.0				
																																									介護	10.0		
																																											看護	1.0
勤務割り区分				ア	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	勤務割り区分の時間帯			
				イ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	ア(日勤) 8:30~17:00(7.5)			
				ウ	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	イ(早番) 7:00~15:30(7.5)		
				エ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	ウ(遅番) 10:30~19:00(7.5)		
				オ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	エ(夜入) 16:00~24:00(7.5)		
																																				オ(夜明) 0:00~8:00(7.5)								
																																				() 内は休憩を除いた時間数								

勤務形態 A 常勤専従 B常勤兼務 C非常勤専従 D非常勤兼務

計算はすべて小数点第2位を切り捨て

常勤職員が勤務すべき1週あたりの勤務日数、勤務時間

5 日 (a) 週 37.5 時間 (b)

常勤職員が勤務すべき1日あたりの勤務時間

7.5 時間 (c)

6月の常勤職員が通常勤務すべき日数

22 日 (d)

常勤職員の勤務すべき曜日が同じ場合 当該月の常勤職員が勤務すべき曜日を足し上げた日数

常勤職員によって勤務すべき曜日が異なる場合の常勤職員が通常勤務すべき日数の計算方法 $(a) \times 4 + (\text{月の日数} - 28) \times (a) \div 7$

常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数

(c) × (d) 165 時間 (e)

常勤換算 常勤専従職員の人数 + (非常勤職員等の勤務時間数合計 ÷ 常勤職員の1ヶ月間における勤務すべき時間数(e))

- *記載上の注意
- (1) 管理者及び従業者全員の、1か月間の勤務すべき時間数を記入してください。
 - (2) 職種ごとに下記の勤務形態の区分の順にまとめて記載し、「合計勤務時間」「週平均の勤務時間」「常勤換算後の人数」については、職種ごとに小計の行を挿入してください。
 - (3) 常勤換算が必要な職種は、合計時間を常勤の従業者が1ヵ月間において勤務すべき時間数で割って、「常勤換算後の人数」を算出してください。
常勤換算後の人数: 常勤の専従職員は1人でカウントしてください。非常勤職員は、職種ごとに勤務時間を合計した上で、月あたりの勤務時間(e) で割り常勤換算を行ってください。
また、常勤の兼務職員で按分が必要な場合は、按分前の勤務時間数を1人とカウントする考え方で常勤換算してください。
 - (4) 看護・介護職員については、療養棟(許可単位)が複数ある場合は、療養棟ごとにわけて記入してください。
 - (5) ユニット型の場合は、看護・介護職員については、ユニットごとにわけて記入してください。
 - (6) 算出にあたっては、小数点以下第2位を切り捨ててください。